

8/27 いやしの宿いいたて 送迎バスの運行始まる

**送迎バスの予約**  
1週間前から2日前までに「いやしの宿いいたて」事務局 ☎024-543-0661 (9:00~17:00)へ。

福島・伊達方を回る「いやしの宿いいたて」送迎バスの運行が始まりました。バスの定員は25人で利用には予約が必要です。借り上げ住宅に入居する利用者は「バスが出て『いやしの宿いいたて』を利用するようになりました。普段出歩く機会がないのでストレス解消になります」と話していました。夏の暑さも去り温泉がより心地よい季節。送迎バスをどうぞ有効にご活用ください。



◀写真は後日9月21日の利用のようすです ▶ いやしの宿の入口まで送迎します ▶

いいたて 便り

ひと月のできごとを 振り返ってお知らせします



静岡からの訪問団と笑顔で交流

静岡県磐田市から約40人が村を視察に訪れました。一行は村内を見学した後、松川第一応急仮設住宅の集会所を訪問。集まった50人ほどの村民と昼食を共にして歓談したり、歌や踊りを披露したりして交流しました。

また、同県掛川市を中心に活動する音楽ユニット「Rayneeds (レイニーズ)」がアコースティックギターやアフリカの太鼓・ジャンベを使った演奏を聴かせたほか、一行が持参した名産のメロンも振る舞われ、住民は温かな励ましを笑顔で受け取っていました。

「Rayneeds」のミニライブは集会所前の広場で

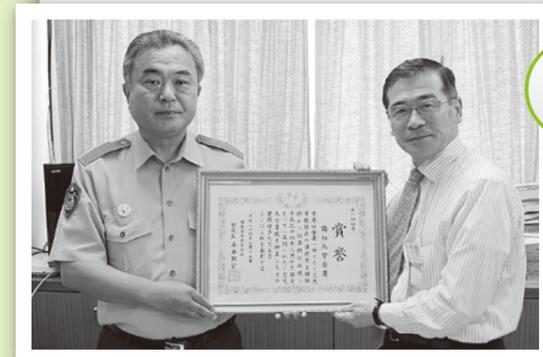


◀静岡県が舞台の「唐人お吉」の物語を歌と踊りで。熱演に拍手

死亡事故ゼロ1年間 いっそうの事故防止を

南相馬警察署管内で交通事故死亡事故ゼロの日数が1年間に達しました。その報告に同署から青田勝則署長が飯野出張所を訪れ、県警本部から授与された賞状を披露しました。昨年8月13日に村内の国道399号で乗用車同士が衝突し女性が死亡した事故を最後に、管内では死亡事故が起きていません。青田署長は「引き続き事故防止に努めたい」と述べ、村の協力も呼びかけました。

8/31



9/8

飯館村民 グラウンド・ゴルフ大会

福島市飯野野球場を会場に村民124人が参加して開催。選手は16ホールストロークマッチの男女別個人戦で、スコアを競いました。



男性の部 女性の部

- |                |   |                  |                   |
|----------------|---|------------------|-------------------|
| 優勝<br>2位<br>3位 | 丹野嘉明さん(飯館町)<br>佐藤貞勝さん(前田)<br>横山正由さん(小宮) | (優勝という結果は)夢のようです | 好投した先発の草野隆洗投手     |
|                |   |                  | サヨナラのランナーを迎える選手たち |

- |                |  |
|----------------|--|
| 優勝<br>2位<br>3位 | 佐藤キミヨさん(前田)<br>高木ミヨ子さん(大倉)<br>石井フミイさん(飯館町) |
|----------------|--|

各賞の賞品には、日本グラウンド・ゴルフ協会寄贈のクラブとボール、村直売所「なごみ」の商品券や野菜などが贈られました。



「誕生日賞」は9月6日生の横山みち子さん(小宮)に

生涯学習係からの お知らせ

同大会の初戦、対浅川町戦は延長戦となり、特別ルールで延長8回に2点を上げた飯館村チームが4対3でサヨナラ勝ちを収めました。



▲粘り強い闘いで2回戦進出!

第6回市町村対抗 福島県軟式野球大会



スタンドから

子育て相談室

新たな学校の船出 その3

飯館中学校がこの8月に福島市飯野町の工場を改修して移転できたことは本誌にもご紹介済みです。生徒たちは、よろこびを声高に表現するよりも、ようやく安心という感情に浸っているようです。学校生活は落ち着いた雰囲気の中に営まれています。部活動も週4日できるようになりました。

校舎は旧工場の躯体をそのまま残していますが、内側を木の壁、木製の窓によって装われていますので、あたためたかみのある雰囲気になっています。また各学年2学級編成になりましたので、学習の効率もよい方向に進むものと思われれます。特別教室も最低限必要な数が整備されました。多目的ホールには幅7メートルを超す飯館中学校舎の写真のパネルが貼られ、ここが飯館中という意識が高まります。体育館は12月に竣工する予定です。

9月1日現在の生徒数は1年生37人、2年生40人、3年生36人の計113人です。これは本来の生徒数の7割くらいの数であるようです。

今後の学校経営について、校長先生は「正常な姿で授業ができることに感謝。教育に必要な条件を整えていただいたので、生徒の進路実現に全力を尽くす。また、感謝を力に」をモットーに、私たちの元氣や意欲を外に発信したい」と語っておられました。課題は進路の克服です。避難をすることにより高校の選択肢が広がった反面、受験のきびしさに対面しなければならなくなりました。生徒諸君の健闘を祈る次第です。

飯館中学校スクールカウンセラー 臨床心理士 海野 和夫